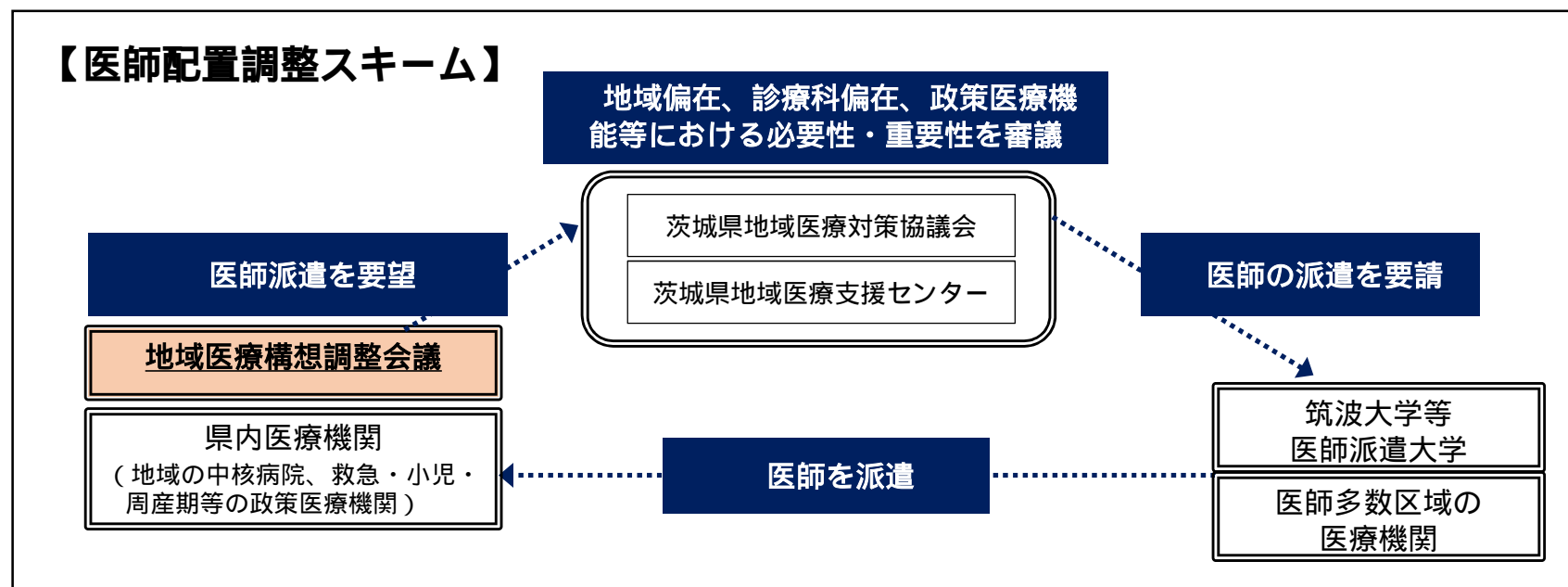


令和 7 年 6 月 1 6 日	資料 2
R 7 第 1 回土浦地域医療構想調整会議	

令和 7 年度医師派遣調整に係る 医師派遣要望調査について

1 医師派遣調整について

- ・ 県では、医師不足や地域偏在などの諸課題に対応するため、茨城県医師確保計画に基づき、短期的な医師確保対策として、各二次保健医療圏における医療提供体制の課題及び重点化の視点を踏まえた県内医師の派遣調整を実施。
- ・ その基礎調査として、地域医療構想調整会議に対し、対象医療機関に係る医師派遣要望調査を実施。
- ・ 地域医療構想調整会議では、地域の将来構想等との関連を明確にしたうえで、医師派遣要望を取りまとめる。



2 医師派遣要望調査について

○調査対象 政策医療（ ）の機能を担う県内67病院

がん・脳卒中・心血管疾患・救急医療・周産期医療・小児（救急）医療

●土浦医療圏内の対象：霞ヶ浦医療センター、県南病院、土浦協同病院、山王台病院、石岡第一病院

○調査基準日 令和7年4月1日

○主な調査内容

- ・地域医療構想における各政策医療分野の医療機能の拠点化・集約化・役割分担等の方向性
- ・派遣を要望する病院の現員医師数及び今後1年間の増員（減員）の見込み
- ・政策医療等の機能を果たすために大学等からの派遣を要望する医師数及びその具体的理由

○調査上の主な留意点

- ・別紙3「令和7年度医師派遣調整における議論のポイント」との整合性を図ること
- ・医療圏の要望人数の上限は4名以内とすること
（ただし、複数医療圏をカバーする機能を有する医療機関は要望人数×1/2でカウント）
- ・医療圏内での診療科の重複要望は不可

○スケジュール

- ～5月下旬 対象医療機関あて調査実施【事務局】
大学等における医師配置の方向性について県がヒアリング【県】
- 6月中旬 対象医療機関からの要望内容に係る協議【調整会議】 ← **本日の会議**
- 7月上旬 県医療人材課への第一次回答【事務局】
- 7月中旬 他医療圏の要望内容に対する意見集約と自医療圏の要望内容の見直し【調整会議】
- 7月下旬 県医療人材課への第二次回答（自医療圏の要望内容を見直した場合）【事務局】
- 8月中下旬 地域医療対策協議会での要望内容プレゼン【調整会議会長】
- 10月 診療科別・病院別の派遣要望リストの決定、各大学等へ医師派遣を要請【県】

令和7年度 医師派遣要望における議論のポイント

別紙 3

限りある医療資源の効果的かつ効率的な配置及び派遣医師のキャリア形成による政策医療体制の更なる充実を図る観点から、令和7年度医師派遣要望にあたっては、特に以下の点にご留意ください。

- 1 地域医療構想調整会議等で議論されている**地域における医療機関の役割分担や将来の方向性の共有に係る協議内容**に沿っているか
- 2 **具体的なデータ**に基づいて、派遣の必要性や派遣が必要な人数が裏付けられているか、また、**派遣による地域医療への効果**が明確にされているか
- 3 **医師派遣後の診療体制**が整備されている、又は整備される予定であるか
(病床数・手術室等の施設やCT・MRI等の設備、看護師等の医療スタッフ等)
- 4 新専門医制度に対応した**教育・臨床研修体制**が確保されているか
特に、専攻医や若手専門医を派遣する場合にあつては、指導医がいるか、具体的に何が学べるか、サブスペシャリティ資格として何が獲得できるか
- 5 他の診療科も含め、**院内の入院診療体制**が整備されているか
(救急外来後の受け入れ等)
- 6 **働き方改革にも対応し**、派遣医師に配慮した**生活等各種環境が整備**されているか
 - ・ **宿日直等を含む適切な勤怠管理**ができているか
 - ・ 同一職種同一賃金の実現に向けた病院間の給与等の格差是正が図られているか
 - ・ 生活拠点の移動にも対応可能な宿舍や保育所等の福利厚生施設（事業）があるか

3 要望調査結果及び要望医療機関の選定について

○ 要望医療機関の選定方法

- ・ 要望調査票の確認及び医療機関への聞き取りを通じて、要望内容が「令和7年度医師派遣要望における議論のポイント」との整合性があるか、調整会議事務局（保健所）にて精査を行う。
- ・ 今回は上限人数を超える要望があったため、要望医療機関の意向や要望内容の妥当性を踏まえ、上限人数の範囲内で選定し、県へ要望する。

○ 要望調査結果及び選定案

医療機関名	医療機関要望（診療科・政策医療・人数）			選定案	
霞ヶ浦医療センター	消化器内科	がん・救急医療	常勤2.0名	消化器内科	常勤1.0名
土浦協同病院	麻酔科	がん・救急医療	常勤2.0名	麻酔科	常勤2.0名 (補正後1.0名)
石岡第一病院	内科	救急医療	常勤1.0名	内科	常勤1.0名
	整形外科	救急医療	常勤1.0名	—	—
山王台病院	救急科	救急医療	常勤1.0名	救急科	常勤1.0名
	腎臓内科	救急医療	常勤1.0名 非常勤0.3名	—	—
	糖尿病内科	救急医療	常勤1.0名 非常勤0.3名	—	—
	消化器内科	救急医療	常勤2.0	—	—
県南病院	要望なし	—	—	—	—
合計			常勤11.0名 非常勤0.6名		常勤5.0名 (補正後4.0名)

土浦協同病院は、県地域がんセンター、救命救急センターとして複数医療圏をカバーする機能を有するため、要望人数×1/2でカウント。

○選定理由

医療圏の課題である救急医療提供体制の維持及び医療機関間の役割分担の観点から、要望医療機関における優先順位も踏まえて以下のとおり選定した。

選定の結果、霞ヶ浦医療センター・石岡第一病院・山王台病院については、要望診療科及び人数を削減した。

医療機関名	診療科	政策医療	人数	医師派遣が必要な理由
霞ヶ浦医療センター	消化器内科	がん・救急医療	常勤1.0名	・現在常勤医が不在のため、三次救急病院で初期治療後の患者の転院受け入れや、腹部救急患者の受け入れができない。 ・二次救急拠点病院としての機能確保や三次救急病院の機能不全回避のため、常勤医の確保が必要。
土浦協同病院	麻酔科	がん・救急医療	常勤2.0名 (補正後1.0名)	・高度医療提供病院として、年々全身麻酔手術の実施件数が増加する一方で、昨年度麻酔科常勤医が1名減となった。 ・日中、夜間を含めた緊急の全身麻酔手術を多数取り扱うためには常勤医の確保が必要。
石岡第一病院	内科	救急医療	常勤1.0名	・常勤医の高齢化などにより、夜間の救急対応が困難であり、土浦協同病院など市外への患者流出が多かったが、R6年度以降自治医科大からの医師派遣によって応需率が向上。 ・救急医療体制維持のためにもR8年度以降も継続した医師派遣が必要。
山王台病院	救急科	救急医療	常勤1.0名	・近年救急車受け入れ台数が上昇傾向にある中、救急医が他科と兼務している都合上、救急対応が困難となることが多い。 ・石岡地域の二次救急拠点としての体制を強化するためにも専属の救急医の派遣が必要。

4【参考】令和6年度土浦医療圏医師派遣要望結果について

要望医療機関	診療科 (人数)	政策医療 分野	大学等への 派遣要請人数	派遣承認 人数	派遣要請以外の 医師配置()
霞ヶ浦医療センター	消化器内科 (1.0)	がん・救急	0.0		小児内科1.0
土浦協同病院	麻酔科 (補正後2.0)	がん・救急	2.0	0.0	血液内科1.0 放射線科1.0 救急科1.0
石岡第一病院	内科 (1.0)	救急	0.0		耳鼻咽喉科0.1
	整形外科 (1.0)	救急	0.0		

「派遣要請以外の医師配置」は、今回の医師派遣調整において要望がなかった医療機関・診療科についても、医療機能維持等の必要性から配置する旨、筑波大学から回答があったもの。